

広報なすしおばら

NASUSHIOBARA Newsletter

11 / 5

November 2017 No.309

特集
職人という
生き方



特集
職人という
生き方

一昔前までは身近だった職人という仕事。長い歴史の中で親方から弟子たちへ引き継がれてきた技術が、今や消失の危機にさらされている。今回の特集では、その技術を次の時代に残そうとする職人たちに光を当てる。

西那須野地区の職人が集う職工組合。その歴史は古く、設立は戦前までさかのぼるといふ。記録が残っている昭和50年頃には100人近い職人がいたが、年々減少し現在は20人ほど。組合長を務める薄井氏に話を聞いた。

——このままでは技術が失われてしまう危機感はある——

職人の世界にも押し寄せる変化の波

今から36年前の昭和55年。大工だった父の後を追って、この世界に足を踏み入れました。当時は周りに職人さんもたくさんいて、組合の集まりもとても活気があったものです。その頃から比べると少し寂しい気はします。

当時は“他人の飯を食う”という習わしがあったので、実家で働くのではなく他の親方のもとで住み込み修行。最初は右も左も全く分からず、言われたことも何1つ上手くできません。一人前になるには、少なくとも10年はかかるといいます。30年以上、この仕事を続けていますが、今でも自分の腕に納得することはありません。日々修行の毎日です。

今では大工の仕事も機械化が進み、鉋がけも機械で出来る時代になっています。しかし、まだ機械は職人の腕には及びません。そこには、数字では決して表せない、感覚の世界があるのです。手で鉋をかけた木の表面には不思議と艶が宿ります。それは長い時間をかけて体で覚えてきたもの。親方から弟子へ代々受け継がれてきた技なのです。

しかし、今は職人の数が減り、後継者不足が問題となっています。現に私にも後継者はいません。それでも、これまで培った技術を次に引き継げればという思いは今でも持っています。



薄井 正美さん Masami Usui
西那須野職工組合長
(薄井建築 代表)



那須野巻狩まつり



大将鍋出陣式



台風21号による大雨の影響で、1日のみの開催となった那須野巻狩まつり。10月21日に那須塩原駅西口駅前広場で開催された大将鍋出陣式は、断続的に雨が降り注ぐあいにくの天候にもかかわらず多くの家族連れで賑わいました。

イベントのスタートを飾った大原間小のよさこいソーランや東那須野中の合唱、地元の小・中学生によるお囃子など、多くの子どもたちが日ごろの練習の成果を披露。空の雨雲を吹き飛ばすくらいに元気いっぱいな姿が、見るに観客を楽しませてくれました。雨で濡れた体を温めてくれる巻狩鍋の味はいつもよりも格別に美味しく感じられ、まるで体の隅々にまで染み渡るようでした。最後には直径2.2mの大将鍋を乗せた山車が会場内を練り歩き、無事にまつりを締めくくりました。



1みんなで踊る巻狩踊り 2巻狩太鼓の鼓動が駅構内まで響き渡る 34大将鍋を乗せた大迫力の山車 5とても中学生とは思えない腕前の津軽三味線 6アツアツ具だくさんの巻狩鍋 7フォトフレーム作り 8一条乱れぬ出陣踊り 9温かい巻狩鍋に自然とこぼれる笑顔 10なしおレンジャーショーでハイタッチ 11一緒に踊ろうよさこいソーラン 12新作！巻狩焼きそば



現場からの帰社後に日報をつける従業員の職人たち。パソコンは1人1台与えられ、左官技術だけでなく総合的な人材育成が図られている。

また左官技術向上のために始めたのが、壁の匠 左官道場。「技術の匠 左官道場」。「職人の数が減少の一途を辿る現在。職人という仕事は、若者の職業選択の候補に挙げられにくい現状がある。そんな中、彼が取り組んでいたのは、こういう人になりたい」と思われる魅力的な職人を育て上げること。そして次なる挑戦は、そんな職人と子どもたちとの接点を増やすことだ。

「子どもたちがものづくりを体験し、その楽しさを感じてもらおう。そして、職人との交流が自然と生まれる場をつくり、職人を身近な存在にしたい。子どもたちが

先輩からの指導を受けながら、新米の職人が左官道場で壁塗りを練習する。何度も何度も同じ作業を繰り返すことで、自然と技術が身につくという。



に付ける必要がある」と考えていた彼は、古いしきたりを変えることを決意。34歳の時から大学に通い、経営管理の修士となった。「社員の接客技術を上げるために、地域のイベントにも積極的に参加してお客さんと接する機会を増やした。お客さんとのやり取りを通じて相手のニーズが分かるようになり、自然と社員の接客対応もよくなっていった」。ほかにも職場外でのマナー研修に社員を参加させるなど、以前の業界にない新たな手法を取り入れていった。

術の乏しい職人にお客さんの壁を塗らせるのはとても失礼。一定のレベルにまで達した職人でないとお金をいただいている仕事はさせたくない」。そう語る彼は職人としての責任からか、自然と口調が強くなる。左官道場では、日々職人たちが壁の塗り剥がしを繰り返す。自らの腕の鍛錬に励んでいる。その結果、彼らの技術は飛躍的に向上しているという。

将来仕事に就くときの選択肢を広げられれば」と期待を込め、職人ビレッジをオープンさせた。自らの技術を活かし、気心の知れた他分野の職人にも声をかけ空き家をリフォーム。今後、週末などにさまざまなものづくり体験イベントを企画している。

彼が最終的に目指しているのは那須塩原市を「ものづくり」のまちとすること。数多くの職人が生まれ、長い時間をかけて培われてきた技術がこの地域で連綿と引き継がれることを望む。彼のあくなき挑戦はこれからも続く。



職人ビレッジの内装はかつて空き家だったとは思えぬほど綺麗に仕上げられ、白い漆喰が目を引く。この日は市男女共同参画広報紙「みいな」の編集会議が開かれていた

若手職人に聞きました

入社2年目 **小林 晋** さん
幼稚園の先生から左官職人へと転職した小林さん。無口で怖いという職人のイメージが一転。親切で丁寧に教えてくれる先輩たちへの憧れと感謝を語ってくれた。入社後、技術を早く身に着けるため「左官道場」で早朝から深夜まで自主的に練習。塗り剥がしをひたすら繰り返す「塗り壁トレーニング」を2カ月間で1000回達成した努力家。「早く仕事を任せられる職人になりたい」と笑顔で語ってくれた。



10月1日に西須野駅前通りで開催された「駅西 de 美味い・上手いなすしおばら感謝祭」の一コマ。阿久津左官店の職人が子どもたちに左官体験を行っていた。

次の世代に技を引き継ぐために

職人といえば、あまり多くを語らず昔気質なもの。こんなイメージを持っている人も多いことだろう。しかし、時代の流れとともに職人の世界にも変化が起きている。職人の減少という課題に立ち向かい、解決に向け試行錯誤を続ける阿久津左官店の挑戦をここで紹介する。

——“格好良い職人”を育成し 子どもたちの憧れの職業にしたい——

「左官職人としての修業時代、先輩から見習わなければいけない技術はたくさんあっても、人としてのマナーや礼儀などはすべてが参考になるというわけではなかった」。そう語るのは、左官職人として25年以上のキャリアを持つ阿久津氏。彼が働き始めたバブル期は、手取り足取り仕事を教えてもらえぬはずもなく、技は先輩から盗んで習得するのが当たり前という時代だった。当時の先輩は、お客さんを前にしてもタバコを吸いながら作業するなど、接客マナーは決して良いものではなく、業界全体が、技術があればマナーは二の次とする雰囲気があったそう。

しかし、バブル崩壊を機に仕事が激減。技術があれば仕事が取れるという時代が終わり告げた。以前から、職人はまず人として見習われるようなマナーや礼儀を身



阿久津 一志さん Kazushi Akutsu
有限会社 阿久津左官店 代表



畳の表替えの作業。手際よく畳表と畳床を引き剥がしていく。動作に一切の無駄がなく、あっという間に作業は完了した。

道具の多くは父から受け継いだもの。"へりひき"というこの道具は、先が欠けては研ぎを繰り返すため、長さがまちまちになっている。

一枚の畳に込める 職人のおもてなし

一昔前までは和室が主流だった日本の住宅。しかし、暮らしの洋風化に伴い洋間が増え、和室は減少し、畳業界の需要も右肩下がり状況だという。そんな中、業界全体を盛り上げるため、自らご当地ヒーロー"タタミマン"として活動する畳店店主の山本氏に話を聞いた。

—職人の“当たり前”を いかにお客様に伝えていくか—



山本畳店 店主 山本 博一 さん
Hirokazu Yamamoto

Q. 職人を志したきっかけは何ですか？

車が好きだったので、高校卒業後の9年間は自動車整備の仕事をしていました。畳職人の父は非常に頑固で、昔ながらの職人そのもの。そんな父と一緒に仕事をするのは大変だと思いましたし、気恥ずかしかったので避けていたのだと思います。畳職人の仕事はずっと重労働。父が年齢を重ね、重いものを持つ重労働。父が年齢を重ね、段々と腰が曲がっていく姿を見て、自分が継ぐことを決心しました。

Q. 技術が身に着くにはどれくらい時間がかかりますか？

一通りの仕事が出来ようになるまで最低でも5年はかかると思います。私はすべての技術を父から学びました。父は昔の職人なので、技術は見て盗めという感じだっ

たので、その分時間はかかったのかもしれませんが。今は専門学校などもあるので技術を身に着ける時間は短縮できると思いますし、自分に後継者が出来れば具体的に指導しながら教育していきたいと思っています。

Q. 職人としてのこだわりはありますか？

畳は自然の素材でできているので、湿度や湿度によってわずかに形を変え、まるで呼吸しているように、膨らんだり縮んだりを繰り返しています。そのため、画一的に仕上げてしまうと乾燥する冬に隙間が生じてしまうことにつながるので、すっきりと収まるようにその都度仕上げを考えなければなりません。最近では機械で量産された畳も出ていますが、職人が一つ一つ仕上げたものには到底及びません。畳を敷く現場をあらかじめ熟知し、その現場に適した畳を作ることは機械には出来ないと思います。長い年月をかけて蓄積された職人の勘が、最適な畳を作り上げているのです。

Q. タタミマン誕生のきっかけは？

長い年月をかけて、日本に根付いてきた畳という文化。家上がる時に靴を脱ぐ日本では、柔らかな畳の質感が適していたのだと思います。しかし、一昔前まで当たり前のように暮らしの中にあった畳が、今や当たり前ではなくなっています。ご年配の人は畳の良さを知っていますが、今の子どもたちや子育て世代はそれを知らない人も増えてるように思います。そこで、若い人たちにも畳の良さを知ってもらおうと、



和の伝道師として日本の畳文化を伝える"タタミマン"。業界だけでなく地域全体を盛り上げるため活動している。

畳の縁に入れて調整する"ねじわら"という部材。これを入れる枚数を変えることで、真っ平らで気持ちの良い和室が出来上がる。

畳の縁(へり)を取り付ける作業。畳の角をしっかりと出すために縁の布の下には厚い紙が入られている。この折り方一つで敷かれた際の畳の収まりが左右されるので、丁寧にまっすぐ角をつける必要があるのだという。



市内から出場する

若き挑戦者たち

機械製図

会場 宇都宮工業高等学校



業務の合間を縫いながら、日々練習に取り組む入社3年目の古橋さん。昔からものづくりに憧れがあり、高校卒業後に専門学校へ進学。20歳の時に愛知県で開催された技能五輪を見学し、その技術の高さに驚愕したという。「まさかその大会に自分も出ることになるとは」。会社の後押しを受けながら、技能五輪に向けて平日・休日問わずに毎日練習に励んでいる。

今年が最初で最後の大会なので、悔いの残らないように頑張ります。あまり自信はありませんが、大会当日までに出来るだけ練習を積んで、なんとか課題を完成させたいです。



株式会社 共伸
営業企画課
古橋 知弥さん
Tomoya Furukashi



技の祭典 技能五輪

若い職人たちが繰り広げる



市内でも見られる熱い戦い

技能五輪全国大会をご存知だろうか。この大会は各都道府県から選ばれた23歳以下の職人達が技を競う大会。55回目を数える由緒ある大会が、今年24日から栃木県では初めて開催される。

大会の競技は42職種あり、時計修理や電気溶接、左官から美容に至るまで実に幅広い。ありとあらゆる職人が日頃から磨いてきた自らの腕を信じて競技に臨む。それぞれの職種で異なる制限時間内に、与えられた課題を完成させ、その精度を競い合う。課題は非常に難解なため、全国から集まる猛者達もまずは時間内にクリアすることが一つの目標となっているようだ。参加する選手は企業に所属している従業員や、高校・大学・各種専門学校の生徒たち。それぞれ所属する組織の威信をかけての戦いとなるため、出場選手はプレッシャーにも打ち勝たなければならぬ。

那須塩原市では、にしなすの運動公園で、建設・建築系の4職種「建築大工」「タイル張り」「造園」「とび」の職人たちが競い合う。全国から若い技能者が集まる会場に一度足を運んでみてはいかがだろうか。

建築大工

会場
にしなすの運動公園



小さい頃から大工の父の姿に憧れ「将来は自分も大工になりたい」と話す村上さんと、宮大工を夢見る成宮くん。那須清峰高校の建設研究部に所属する2人は、高校生では取得が難しいと言われる技能検定2級の試験を見事突破した。平日の放課後だけでなく、土日も1日中練習に没頭。高校生とは思えない真剣な眼差しは早くも職人の表情だ。周りの多くの大人から支援を受け、二人で力を合わせて大会に臨む。

最初は何もかもうまくいきませんでしたが、少しずつ出来るようになってきました。大会では時間の配分に注意しながら、これまでの練習の成果を十分に発揮出来るよう頑張りたいです。



那須清峰高校 3年
成宮 慎作さん
Shinsaku Narumiya
村上 飛雅さん
Hyuga Murakami

とちぎ技能五輪・アビリンピック2017
会場：にしなすの運動公園

11/25(土) 11/26(日)
午前10時 - 午後4時

当日は職人たちの競技観覧だけでなく、さまざまなイベントも用意。開拓鍋^{*1}や巻狩鍋^{*2}、牛乳^{*1}などが無料で配布されたり、飲食店がブースを構えるなど地元のグルメを味わえます。(※1は25日のみ、※2は26日のみ実施)

大会のCMはこちらまる






■市民1人当たりの歳出を分類すると

※住民基本台帳人口:117,846人(平成29年3月31日現在)

民生費 135,003円	子どもや高齢者・ 障害者支援など	教育費 48,481円	学校の整備運営、 教育や文化振興 など	公債費 41,702円	借入金の返済	総務費 41,408円	税務事務や市役所 運営、防災、交通 など
土木費 39,655円	道路・公園の整備 や管理など	衛生費 28,960円	ごみ処理や 健康増進など	商工費 16,290円	商工や観光振興 など	消防費 15,144円	消防など
農林水産業費 11,770円	農林業や畜産業 など	議会費 2,817円	議会運営など	災害復旧費 972円	災害復旧など	労働費 141円	労働対策など

平成28年度
決算
健全財政を維持

▶問い合わせ
財政課
☎0287(62)7118

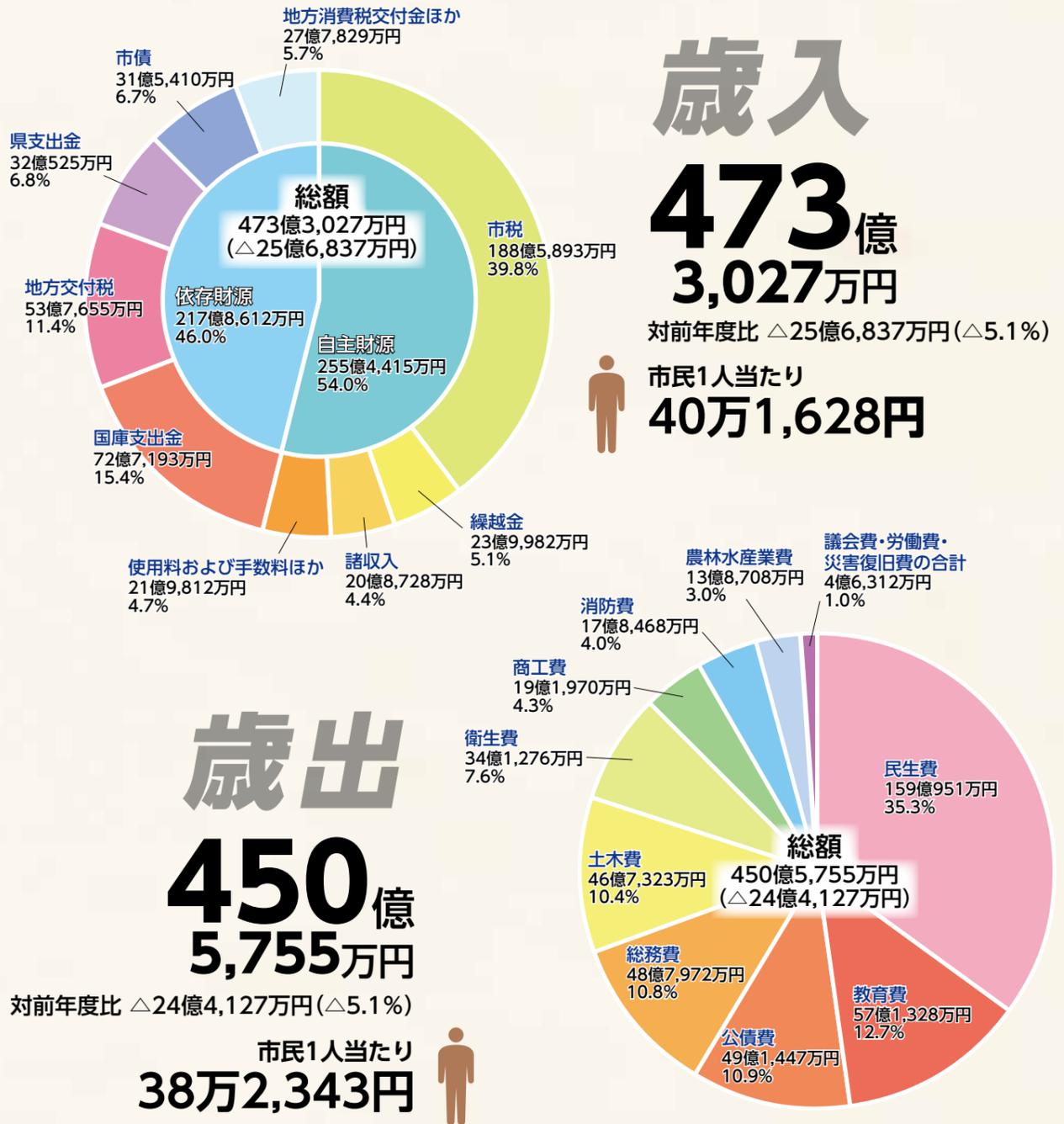
平成28年度の決算がまとまりましたのでお知らせします。
前年度と比べ、歳入では市税(固定資産税など)が増加し、市債は大幅な減額となりました。歳出では、民生費(年金生活者等支援臨時福祉給付金など)と土木費(黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業など)が増額となったものの、衛生費(放射能対策事業など)と教育費(学校耐震改修事業など)は大幅な減となりました。
財政健全化判断指標から判断すると、本市の財政は引き続き健全な状態です。

市の決算を
家計簿に例えると?

市の財政状況を身近に感じていただくため、平成28年度の市の一般会計の決算を、月給30万円のサラリーマン世帯に例えてみました。

収入		支出	
○給料 (市税)	360万円 (188億5,893万円)	○食費 (人件費)	121万円 (63億5,476万円)
○パート収入 (使用料、手数料など)	72万円 (37億7,449万円)	○医療・介護費 (扶助費)	200万円 (104億8,496万円)
○親などからの援助 (地方交付税、国庫支出金、県支出金、交付金など)	356万円 (186億3,202万円)	○光熱水費や日用品の購入など (物件費、補助費など)	224万円 (122億3,263万円)
○銀行からの借入 (市債)	60万円 (31億5,410万円)	○子どもへの仕送り (繰出金)	87万円 (45億5,641万円)
○貯金の取崩し (基金繰入金)	10万円 (5億1,091万円)	○ローン返済 (公債費)	94万円 (49億1,447万円)
○繰越金 (前年度繰越金)	46万円 (23億9,982万円)	○家の改修・電化製品・車などの購入 (投資的経費)	96万円 (45億2,129万円)
		○友人への貸付、貯金 (貸付金、積立金)	38万円 (19億9,303万円)
収入合計	904万円 (473億3,027万円)	支出合計	860万円 (450億5,755万円)

収入合計904万円(473億3,027万円)から支出合計860万円(450億5,755万円)を差し引いた金額44万円(22億7,272万円)は翌年度の家計に持ち越します。



平成28年度 実施した主な事業



【民生費】

○民間保育施設運営費	20億8,096万円
○児童手当費	20億4,121万円
○障害者福祉サービス費 (総合支援法事業)	15億3,078万円
○介護保険特別会計繰出金	11億6,778万円
○臨時福祉給付金	5億7,435万円
○子育て応援券の交付 チャイルドシートの購入や一時保育 サービスに利用	6,021万円
○高齢者外出支援タクシー料金助成	2,830万円

【総務費】



○地域バス運行事業	1億9,449万円
○防災対策推進費	2,177万円
○定住促進事業・定住PR事業 新幹線定期券購入費の補助、3世代同 居用住宅取得費の補助など	2,258万円

【衛生費】



○那須塩原クリーンセンター管理 運営事業 那須塩原クリーンセンターの運営など	7億5,486万円
○こども医療費助成事業 こどもの医療費に対する助成など	3億4,236万円
○成人保健事業 集団検診、がん検診など	1億8,763万円
○母子保健事業 妊婦健診、不妊治療費助成など	1億3,724万円



【教育費】

○小・中学校管理運営 小・中学校管理運営、施設管理、施設 整備など	17億2,389万円
○小・中学校ICT事業 校内LAN整備、電子黒板リースなど	1億6,160万円
○外国語教育の推進 ALT(外国語指導助手)や英語教育推進 員の配置	1億6,005万円
○くろいそ運動場本球場の改修	1億3,508万円
○小学校エアコン整備事業	4,464万円
○共英学校給食共同調理場の改築	3,440万円

【消防費】



○那須地区消防組合への負担金	14億6,589万円
○消防団活動費 消防団員報酬、公務災害補償など	1億4,564万円
○消防コミュニティセンター整備 事業 消防団詰所の整備、用地の購入	5,696万円

【農林水産業費】



○農村活動支援事業 農地の維持向上活動の支援	1億9,581万円
○牛乳等による地域活性化推進事業 地域イベントでの牛乳の提供やオリジ ナル乳製品開発など	1,063万円
○はじめてのふるさとごはん事業 (子育て応援米) 子育て支援米の配布	765万円

【土木費】



○防災・安全交付金による道路整備 二区町・緑線ほか1路線の道路改良、石 丸鍋掛線ほか3路線の舗装	7億5,833万円
○地域再生基盤強化交付金による道 路整備 新南・下中野線道路改良工事・橋梁工事、 穴沢戸田線ほか4路線の舗装	5億1,670万円
○黒磯駅周辺地区都市再生整備計画 事業 (仮称)まちなか交流センターの建築、 (仮称)駅前図書館の設計など	1億3,099万円
○那須塩原駅周辺地区都市再生整備 計画事業	1,573万円

【商工費】



○市観光局への補助 首都圏向け観光プロモーションなど	9,933万円
○プレミアム商品券の発行 プレミアム(10%)付き商品券の発行	4,628万円
○商工イベントの推進 那須野巻狩まつり、西那須野ふれあい まつりへの補助など	3,378万円



1書道実演は見る人も息をのむほど 2子どもたちの力作が並び、わが子の作品を探す 3美味しそうなのに誘われて、肉料理を提供する店に並ぶ家族連れ 4和太鼓の音色が会場全体を盛り上げてくれる



←地元産チーズをふんだんに使ったピザを頬張る

雨ニモマケズ 秋のまつりを楽しみ、味わい尽くす ～西那須野産業文化祭・畜産フェア～

10月14・15日、にしなすの運動公園を中心とした特設会場で産業文化祭が行われました。文化や芸術、福祉など100を超えるブースが出展し、多くの市民でにぎわいました。15日には今年からリニューアルした畜産フェアが同時開催。お店を何軒もはしごする人が多くみられ、各店の味を堪能。この日はあいにくの雨だったにもかかわらず、終了時間前に売り切れる店舗が相次ぎ、秋の味覚の祭典は大盛況のうちに幕を閉じました。



湧き出す湯の恵みに感謝 ～塩原温泉 古式湯まつり～

1200年以上の歴史をもつ塩原温泉郷には、150を超える源泉が湧いています。この温泉の恵みに感謝するため、9月24日に古式湯まつりが厳かに行われました。塩原温泉発祥の地である元湯温泉からお湯を汲み、塩原八幡宮に奉納。その後お湯は御神湯として、古の衣装に身を包んだ関係者たちによって市役所塩原庁舎から湯っ歩の里まで運ばれ、祭主から各地区の代表に分け与えられました。



認知症の理解を深めよう ～ランとも 栃木2017～

秋晴れとなった9月23日、RUN伴栃木2017が市内でも開催されました。「RUN伴」とは認知症の人と一緒にタスキをつなぐ体験を通じて、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進する活動で、全国で行われています。この日も県内各地で同時開催され、本市でもオレンジ色のTシャツに身を包んだ38人のランナーが、ゴールの市役所西那須野庁舎を目指し、那珂川河畔公園を出発していきました。

■特別会計の決算状況

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険特別会計	157億6,756万円	149億2,029万円	8億4,727万円
後期高齢者医療特別会計	9億8,231万円	9億6,042万円	2,189万円
介護保険特別会計	77億9,954万円	71億9,828万円	6億 126万円
下水道事業特別会計	30億 302万円	29億5,828万円	4,474万円
農業集落排水事業特別会計	1億1,582万円	9,994万円	1,588万円
温泉事業特別会計	7,175万円	5,288万円	1,887万円
墓地事業特別会計	668万円	382万円	286万円

■公営水道事業の決算状況

区分	収入	支出	差引
収益的収支(水を作って届けるための収入と支出)	28億3,273万円	24億7,491万円	3億5,782万円
資本的収支(施設の更新などのための収入と支出)	4億1,327万円	14億7,540万円	△10億6,213万円

■財産状況

公有財産						基金 ※特別会計を含む
土地	建物	山林など	無体財産権(商標権)	有価証券	出資による権利	
12,230,901㎡	402,935㎡	6,436,255㎡	1件	1,680万円	7億3,034万円	180億7,083万円

■市債・基金残高(一般会計)

※住民基本台帳人口：117,846人(平成29年3月31日現在)

市債	平成27年度末残高	平成28年度支出額	平成28年度借入額	平成28年度末残高	市民1人当たりの市債残高
	353億139万円	46億2,331万円	31億5,410万円	338億3,218万円	28万7,088円

基金	区分	財政調整基金	減債基金	特定目的基金	合計	市民1人当たりの基金残高
	残高	57億9,154万円	16億6,456万円	85億1,584万円	159億7,194万円	13万5,532円

■市の財政状況は？ ～財政の健全性に関する5つの指標～

指標	用語解説	H27	H28	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)	市の状況
実質赤字比率	一般会計などを対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する割合。	-	-	11.94%	20.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
連結実質赤字比率	一般会計などに加えて特別会計や一部事務組合などの関連するすべての会計を対象とした実質赤字額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	16.94%	30.0%	すべての会計で黒字のため該当なし
実質公債費比率	一般会計などが負担する公債費や公債費に準じるものなどの、標準財政規模に対する割合。	4.9%	4.1%	25.0%	35.0%	新規借入の抑制などにより前年度に比べてさらに向上
将来負担比率	一般会計などが将来負担する可能性のある実質的な負債額の、標準財政規模に対する割合。	-	-	350.0%		将来負担は発生していないため該当なし
資金不足比率	各公営企業会計の資金不足額の、事業規模に対する割合。	-	-	20.0%		資金不足は発生していないため該当なし

平成29年度上半期 財政状況報告

■予算の執行状況(一般会計・特別会計)

※9月議会までに議決を受けたもの

会計名	歳入・歳出現計 予算額	歳入		歳出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
一般会計	495億9,434万円	223億 102万円	44.4%	190億6,627万円	38.4%	
特別会計	国民健康保険	169億4,226万円	67億1,432万円	39.6%	63億6,686万円	37.6%
	後期高齢者医療	9億9,160万円	5億 996万円	51.4%	3億6,203万円	36.5%
	介護保険	86億5,018万円	40億7,698万円	47.1%	29億3,866万円	34.0%
	下水道事業	30億7,968万円	11億3,440万円	36.8%	10億2,830万円	33.4%
	農業集落排水事業	1億1,201万円	5,538万円	49.4%	4,507万円	40.2%
	温泉事業	6,659万円	4,428万円	66.5%	1,607万円	24.1%
	墓地事業	490万円	646万円	131.9%	113万円	23.1%

■公営水道事業の経理状況

区分	収入			支出		
	予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	支出率
収益的収支	29億 34万円	14億1,158万円	48.7%	26億6,928万円	11億9,653万円	44.8%
資本的収支	7億3,188万円	0万円	0.0%	18億1,385万円	3億4,457万円	19.0%



【投票結果】

当日有権者数	9万7019人	投票者数	5万 313人
投票率	51.86%		

【開票結果】

届出順	候補者氏名	候補者届出政党名 または所属党派名	本市の得票数	栃木県第三区 全体の得票数	結果
1	まき 昌三	日本共産党	4159票	9990票	
2	石渡 つよし	幸福実現党	573票	1561票	
3	渡辺 みゆき	希望の党	1万6587票	4万2820票	
4	やな 和生	自由民主党	2万7585票	7万4371票	当選

▼問い合わせ
選挙管理委員会事務局 ☎0287(62)7183

02 10月22日に行われた 衆議院小選挙区選出議員選挙結果



01 那須疏水が「世界かんがい施設遺産」 に認定されました

明治時代に先人たちが開削し、那須野が原に恵みをもたらした「那須疏水」。このたび、10月10日にメキシコで開催された国際かんがい排水委員会において、世界かんがい施設遺産に登録されました。歴史的・技術的に高い価値のある施設を表彰し、関心を高めることで、地域づくりへの活用が期待されます。詳しくは、11月20日号でお知らせします。

▼問い合わせ
那須野ヶ原土地改良区連合 ☎0287(36)0632



みんなで奏でるハーモニー ～市中学校合唱フェスティバル～

9月24日、黒磯文化会館で市内中学校9校による市中学校合唱フェスティバルが開催されました。会場全員による市の歌の合唱で幕開け。その後、各校が日ごろの練習の成果を披露しました。関東合唱コンクールで好成績を残した西那須野中・日新中・三島中也参加。フィナーレを飾った総勢439人による大合唱はまさに圧巻。合唱王国・那須塩原を体感させてくれました。



1 会場全体が一体となって歌う市の歌
2 緊張感が張り詰める舞台裏
3 関東合唱コンクールで金賞を受賞した三島中学校合唱部
4 立派に司会を務めあげた中学生4人には会場から拍手が送られた
5 439人が登壇するとこの迫力。歌声はそれ以上の大迫力



04 市立地適正化計画（居住誘導区域の 設定案）の説明会を開催します



03 「なすしおばらファンのつどい」を 開催します

「なすしおばら」を一緒に盛り上げてくれる皆さん、ぜひ会場にお集まりください。

▼とき 11月18日(土) 午後2時～

▼ところ 黒磯文化会館

▼内容 まちづくり大使委嘱式、なすしおばらファンクラブ設立式、まちづくりフォーラム(パネルディスカッション)

▼参加費 無料(誰でも参加できます)

▼問い合わせ
シティプロモーション課 ☎0287(62)7128

人口減少・高齢社会でも持続可能なまちを目指して策定した計画に、居住地を誘導するための考え方や土地を分譲する場合の届け出などを追加します。(参加申込は不要)

▼とき・ところ

① 11月28日(火) 西那須野公民館

② 11月29日(水) いきいきふれあいセンター

③ 11月30日(木) ハロープラザ

※時間は全て午後7時～8時30分

▼問い合わせ
都市計画課 ☎0287(62)7159



熱い思いをタスキに込めて ～那須地区中学校駅伝競走大会～

冷たい雨が降り注ぐ10月21日、那須野が原公園で那須地区中学校駅伝競走大会と那須地区中学校女子駅伝競走大会が開催されました。

本市、大田原市、那須町の各中学校から男女それぞれ22チームが出場。上位6チームに与えられる県大会への切符を巡り、熱い戦いを繰り広げました。

大会の結果、男子では三島中が優勝、黒磯北中(写真)が3位、女子では三島中が2位、厚崎中が3位の成績を収めました。



秋の実りを自分たちの手で ～青木小 稲刈り～

秋風の心地よい晴天に恵まれた10月4日、青木小学校で稲刈りが行われました。全校行事として毎年実施されているこの取り組みは今年で10年目。地域の人から刈り方を教えてもらいながら、93人の児童が参加しました。今年が初めてとなる1年生は鎌の使い方に慣れず戸惑いながらも、高学年の子たちに助けをもらい、あっという間に稲刈りは完了。今回収穫したお米は、1人3kgずつ配られ、各家庭で美味しく召し上がられたそうです。

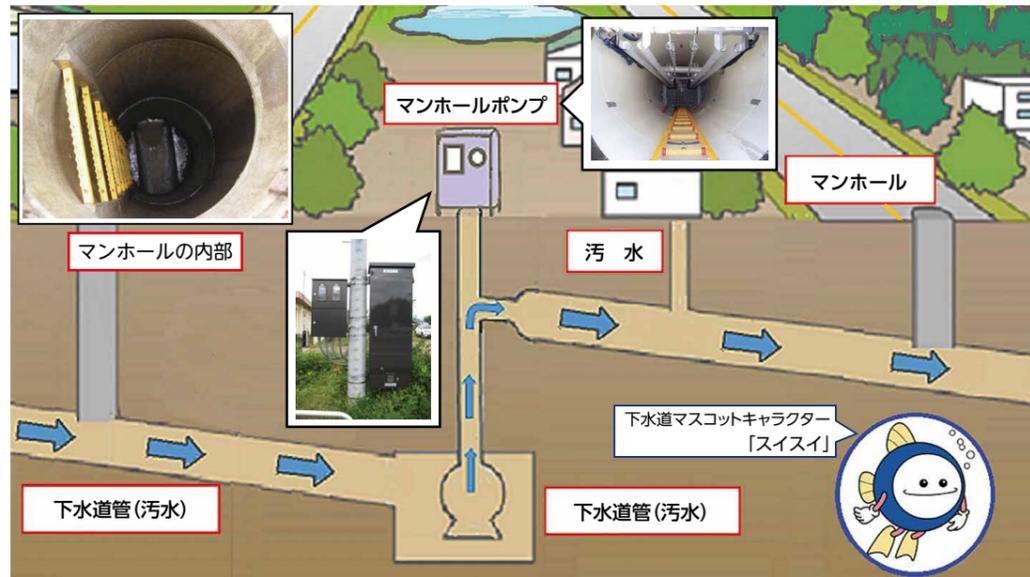
下水道ってどんなものなの？

問い合わせ
 下水道課
 ☎0287(37)8479

地中の下水道管は どうなっているの？

下水道管は、汚水が自然に流れていくように、傾斜をつけて埋設されています。このため、上流よりも下流の方が、管は深くなります。しかし、あまり管が深いところがあると、工事の費用もたくさんかかりますし、詰まったり壊れたりしたときに、管理が大変になってしまいます。

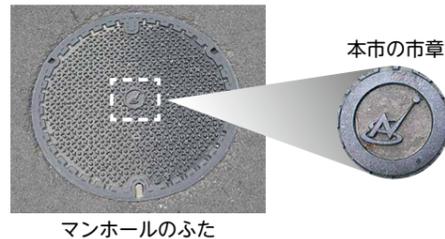
そこで、ある程度の深さになったら、一度ポンプで汚水をくみ上げて、傾斜をつけられるようにします。本市では、汚水のくみ上げは、マンホールポンプという小規模な施設で行っています。現在市内には、37か所のマンホールポンプがあります。



マンホールって 何だろう？

マンホールは、人（man）と穴（hole）を組み合わせた造語で、地下にある管を点検・掃除・修理するために設けられた作業用の出入り口のことです。

管が合流したり、カーブするような詰



マンホールのふた

みるひいのマンホール 知っていますか？



なんと！本市のキャラクターみるひいのマンホールが設置してある場所が1か所あります。

皆さんは見たことがあるでしょうか？ まだ見たことのない人は、ぜひ一度探してみてください。

場所は、次回の連載でお知らせします。お楽しみに。

マンホールを探すときは、まわりの安全をよく確認してね！



第2回目は、下水道管やマンホールなど、住まいの身近にある下水道施設のお話です。

第1回目では、下水道は汚水を集めて処理場へ運ぶ道路と説明しました。今回は、下水道施設にどのような役割があるのか、それぞれの名前とついでに紹介します。

まりやすい場所や、下水道管の大きさにより一定間隔に設置してあります。

また、下水道だけではなく、農業用水や電話、電気、消火栓などさまざまな埋設物を管理するために設置されているマンホール。下水道のマンホールのふたの多くは、市章（合併前に設置したものは旧三市町の市章・町章）や「おすい」という文字が入っています。

その他のマンホールのふたには、企業のマークや「消火栓」、「電」な

どの埋設してあるものを示す文字が入っています。

また、マンホールのふたは表面がでこぼこしていますが、これは、マンホールの上を通行するときに滑りにくくするためです。

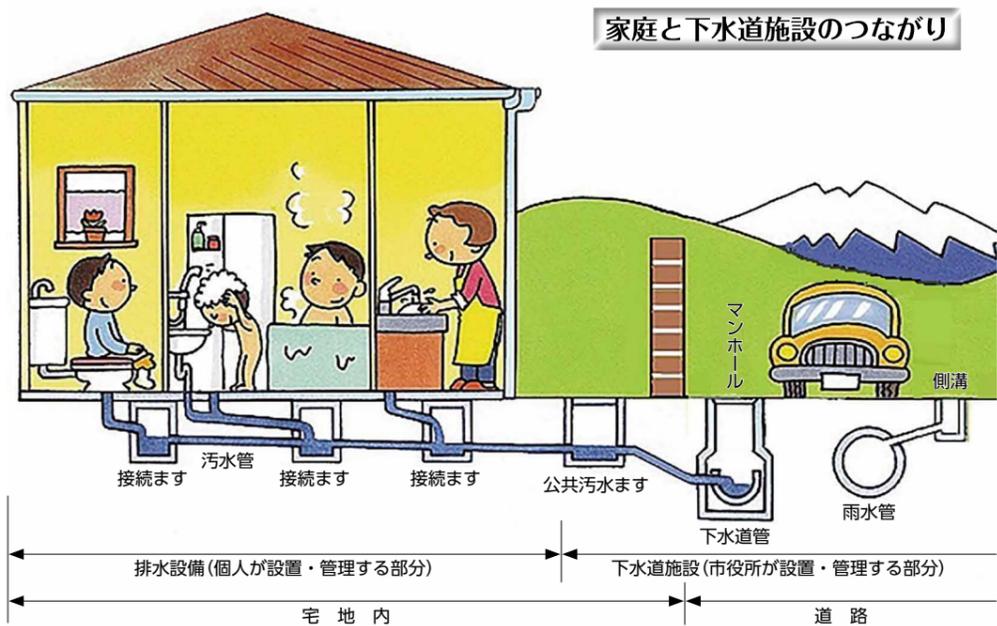
マンホールのふたの模様も種類がたくさんあって、観光名所や名物、ご当地キャラクターなど、自治体によってもさまざまです。楽しい絵柄がたくさんあります。全国的に観光PRにも活用されているんですよ。

汚水や施設の管理について

汚水を流す管は、宅地内にある「排水設備」と、「下水道施設」とに分かれます。

左の図で、下水道施設は「公共汚水ます」から下水道管側すべて

をいいます。「公共汚水ます」というのは、下水道管と宅地内の排水設備の接続点にあり、下水道施設のあるマンホールと同じく、道路などにあるマンホールと同じく、管の点検や管理をするための大切なものです。



スイスイの「これ、知ってる？」

マンホールのふたはなぜ丸いのか？

四角いふたと、ふちが欠けたり、斜めにずれると中へ落ちてしまったりすることがあるんだ。ふたが丸いと、欠けにくいし、ずれてもふたの直径がマンホールの直径よりも大きいから、中に落ちる心配がないんだよ。



日本と世界最古の下水道は？

下水道の起源は、紀元前2,000年頃のエジプト・ダラ遺跡にみられるそうだよ。日本の下水道の概念の登場は、弥生時代とされているよ。



コレ、流しても大丈夫？

下水道施設については、市で設置や管理を行います。宅地内の排水設備については、すべて個人（所有者）の管理になります。

トイレに流せるものは、トイレットペーパーやトイレ用の紙類です。不織布を含めた布類やティッシュペーパーなどの紙類は、下水道に流すと管の詰まりの原因になってしまいます。また台

所でも野菜くずなどの固形物や油を流してしまうと、同じように管が詰まる原因になります。

最近、このような原因で管やポンプが詰まる事故が多発しています。

管が詰まると、マンホールから汚水があふれるだけでなく、家庭の排水口からも汚水が逆流してしまふこともあります。また、正しい使い方をしないと、管の寿命を縮めてしまいます。

流す前に、すこしだけ下水道のことを思い出してみてください。

下水道を 正しく 使いましょう



汚水があふれそうなマンホール



管に詰まっていた布類



紙類が詰まったポンプ

◆今回の「那須塩原市の下水道」は、処理場についてお知らせします。

抽選 **10名様** **読者プレゼント** を当てよう
 ~洋菓子店ねむの樹 お菓子詰め合わせ引換券~
応募方法
 広報なすしおばらの感想、取り上げて欲しい話題、珍百景(次ページ)などをがきか2次元コードからご応募ください。
 ※発表は発送をもって代えさせていただきます。
 ※引換券を発送するので店舗で引き換えてください。

応募締切 **12月5日**
 当日消印有効



お便りBOX

皆さんからいただいたお便りを紹介します。
 今後の広報誌づくりの参考にさせていただきます。

◆10/5号の「稲に赤とんぼ」の表紙を見て、秋の自然の景色が素晴らしく思いました。農業を継ぎ、イチゴを作っている方の記事を読みました。農業は大変苦勞がありますが頑張つて成功させてください。ケーキの上で真珠のように輝くイチゴ。そんな日本一のイチゴを作ってください。

◆UEOキヨさん(木綿畑 90代女性)
 ◆内容が充実し、わかりやすく説明も加えてあり、読みたいと思える広報になりました。今回は「下水道のこと」。知っているようで知らないことが沢山ある

スマートフォンなどからの応募はこちら



Q. あなたが好きなコーナーはどれですか？(複数可)

1. 表紙
2. 特集
3. 行政 info
4. タウンピックアップ
5. 子育て連絡帳
6. チャイルドトピックス
7. 健康だより
8. 図書館へ行こう！
9. お便りBOX
10. なすしおばら珍百景
11. ちっちゃな自然
12. 編集後記
13. げんきびと
14. ものづくり若人
15. 私のまちの近い遺産

広報なすしおばらを読んだ感想、取り上げて欲しい話題や記事などをお書きください。

◆「タウントピックス」に掲載されました。次回が楽しみです。
 白峰さん(南町)80代女性

◆「那須野の大地」を読んで、私たちの先祖の苦勞を思い友人と一緒に涙しながら見たの思い出しました。私たちが青木に入植した当時も森林ばかりで大変でしたが、それ以上に苦勞されたのだと思い、今を大切に生きなればと、とても感謝の気持ちでいっぱいになりました。
 H・Sさん(青木)70代女性

◆自分の知らなかった那須塩原市を知ることができ、いい広報です。おもしろい記事もあるので毎回楽しみにしています。
 みつーさん(北赤田)10代女性

◆「これからは寒くなると暖房器具を使うようになります。この時期、消防車が鐘を鳴らして見回りをします。その鐘の音でも安心します。ありがとございます。」
 とっしーさん(三島)60代男性

◆写真がどのカットもイキイキしていて、まず写真で気持ちはずみです。楽しく読ませていただいております。広報担当の方が卒業とかお疲れ様でした。
 モン婆さん(鍋掛)70代女性

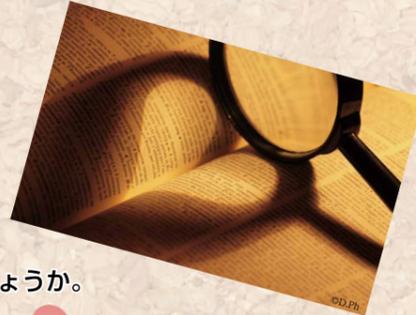
その他にも、たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。

図書館 HP



図書館へ行こう！

冬の足音が近付いて来ます。
 長い夜を、著者との心の対話で過ごしてみたいはいかがでしょうか。



NEW!

『捨て鉢になってドラッグで植物人間になった僕に、「心の案内人」が教えてくれたこと』
 著：アナン・ディバル サンマーク出版
 著者自身の、絶望的な状況下での実体験に基づいて書かれた物語。「この人生は自分が自分であるための唯一のチャンスである」。あなたの心に響く言葉との出会いがあるかもしれません。
 失敗して気付いた大切なこと

『あなただけじゃないんです』
 著：瀬戸内 寂聴 自由国民社
 著者自身の人生に触れながら、女性たちの夫婦・嫁姑・親子などの人間関係で生じる悩みや病気のことをひとつひとつ、静かな心で見つめながら論してくれます。
 だれだって、悩みはあるんです。

『すごいね！みんなの通学路』
 文：ローズマリー・マカーニー 西村書店
 日本の子どもたちは毎日当たり前のように学校に通っていますが、世界の子どもたちはどうなのでしょう？通学路に険しい山や川があったらどうなるか想像してみてください！
 世界の過酷な通学路を紹介する写真絵本

『歴メシ！世界の歴史料理をおいしく食べる』
 著：遠藤 雅司 柏書房
 紀元前三千年～19世紀後半までの歴メシの中からダ・ヴィンチやソクラテス、マリーアントワネットなど8つの饗宴の場面にタイムスリップしてみませんか？
 歴メシ。おいしく再現！8時代40品!!

『ぬけちゃった』
 さく：スティーブ・アントニー 評論社
 パソコンにつながるのが大好きなビビちゃんは、ある日コードにつまづいて外の世界にとび出してしまい…。外に出ることの素晴らしさをおしえてくれるお話です。
 内と外を白黒とカラフルで対比

『マイナス・ヒーロー』
 著：落合 由佳 講談社
 体が弱くバドミントンを続けられなかった久能凧人は、同級生で万年2位の羽野海を優勝させることを約束する。青春の日常、手に汗握る迫真の試合、ドキドキさせられる一冊。
 失敗ばかりでも、ヒーローになれる

イベント情報

「おりがみでうさぎとぞうをおろう！」
おはなし会と工作会
 おはなし会の後に工作会を行います。ハサミを使った作業などはありませんので、小さなお子さんでも安心して作業できます。
 ▶とき 11月18日(土) 午前10時30分～11時30分
 ▶ところ 塩原図書館
 ▶対象 小学生以下のお子さん
 ▶参加費 無料 ▶定員 定員なし(申込み不要)
 ▶問い合わせ 塩原図書館 ☎(48)7521

休館情報

11月26日(日)
 停電に伴う **休館・サービス停止**
 ○休館：全図書館(西那須野・黒磯・塩原)
 ○サービス停止：分室と図書館ホームページ
 ※分室では資料の閲覧はできますが、貸出・返却はできません。
 ※ホームページの利用停止時間は午前8時～午後5時まで。

11月27日(月)～30日(木)
 蔵書点検に伴う **西那須野図書館 特別休館**
 休館中の本の返却は、正面玄関脇のブックポストをご利用ください。なお、CD・DVDと他の図書館から借り受けた資料は、ブックポストではなく、開館日にカウンターに返却してください。

▶問い合わせ 西那須野図書館 ☎(36)6001 黒磯図書館 ☎(63)9031 塩原図書館 ☎(48)7521

ちっちゃな自然
みつけた



たまには野鳥も
～ヒドリガモ～



ヒドリガモ(雄) 撮影時期:2016.12.3 撮影場所:那珂川河畔公園

ヒドリガモって?

カモ科マガモ属 Anas penelope
内湾、湖沼、川などでよく見られる冬鳥。体長は、約50cmでマガモより少し小さい。雄は頭部が茶色で頭頂部からくちばしにかけてクリーム色である。雌は地味で他のカモと見分けにくい。



手前が雌

冬は準備したでしょうか。もう十一月です。暑いのも辛いですが、寒いのも辛いので、今頃の日中が一番過ごしやすい時期なのかもしれません。しかし野山は冬が近づいて、かなり花が少なくなってきたので、今回は初めて野鳥を紹介します。野鳥で比較的に見やすいのは、ハクチョウやカモといった水鳥です。冬が近づくと、ロシアなどの北国からやってくる渡り鳥。那珂川河畔公園にもやってきます。那珂川河畔公園と鳥野目河川公園では、渡り鳥でないものも含めて、いくつかのカモの仲間が見られます。雄は頭が緑色のマガモや雄雌の区別が難しいカルガモ、しつぽの長いオナガガモもいます。ヒドリガモやオナガガモは潜水しませんが、潜水するカモもいます。カモよりも小さいカイツブリという鳥は潜水が得意で2分間程度潜水できます。また川の鮎を食い荒らしてしまうカワウも見られます。肉眼でも見られますが、もし双眼鏡を持っていけば、よく見られますので観察してみてください。

ヒドリガモは、雄の頭が茶色で頭頂部からくちばしにかけてクリーム色になっています。この頭の模様は、独特なので見間違ふことはありません。まれに顔が緑色のアメリカヒドリガモが混じっていることがあります。愛嬌のあるおもしろい顔をしているので、ぜひ探してみてください。

おさむ

【お詫びと訂正】
10月20日号の次の箇所に誤りがありました。お詫びして訂正します。
○14ページ
見えづらさをサポートお役立ち講座
(誤) 西那須野駅からの送迎バス
(正) 那須塩原駅からの送迎バス
(誤) 国際医療福祉大学
☎0287(24)3700
(正) 国際医療福祉大学
☎0287(24)3000

編集後記

取材で金属加工の工場を訪ねる機会に恵まれました。事前に、案内してくれる商工の担当者から「今回は引抜鋼管をしている工場」との情報ももらっても、イメージがまったく湧かず頭の中は「?」ばかり。しかし、いざ現場で作業を見せてもらうと、取材そっこのけでその様子に見入ってしまいました。未知の世界を知ることとは何歳になっても楽しいですね。(興野)

今回の特集にあたり、さまざまな職人さんのもとを訪れ、お話を聞きました。そこには仕事としてというより、人生をかけて「ものづくり」に取り組んでいる姿がありました。真剣で妥協しないその姿に感銘をうけ、特集のタイトルは「職人の仕事」ではなく「職人としての生き方」としました。このまちから多くの職人が生まれ、技術が途絶えないことを祈ります。(平石)

なすしおばら
珍百景

あなたの"珍"を募集中
「応募方法」
方法① きらきらホット
なすしおばらに投稿
珍百景投稿用フォームに
必要事項を入力。
方法② シティプロモーション課に電話
☎0287(62)7109
●必要事項
住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)
●注意点
※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

まさに、あおがえる



投稿者 小池 高さん(60代男性 塩野崎)
撮影場所 塩野崎地内(撮影日 H29.10)
キャベツ畑で草むしりをしていたところ、妙な色のカエルがピョコリと出現。子どもたちに見せてあげようと持ち帰ってきました。

～今月の読者プレゼント～
～まちの老舗の洋菓子店 ねむの樹～
お菓子詰め合わせ 引換券 1,000円相当
お子様からお年寄りまで幅広い世代から愛されて35年。季節の旬の素材にこだわり、定番から新作まで常に豊富なラインナップでお客をお迎えしている「ねむの樹」。写真は、クマの形がとっても可愛いらしい新作「クマのだいきくん(マドレーヌ)」。

菓子工房 ねむの樹 本店	菓子工房 ねむの樹 若松店
所在地 上厚崎342-5	所在地 豊浦93-7
営業時間 9:00～19:30	営業時間 10:00～19:00
定休日 水曜	定休日 水曜
☎0287(62)7545	☎0287(64)1888

※プレゼント品を提供いただける事業者を募集しています。詳しくは☎シティプロモーション課☎0287(62)7109まで。

3 2 5 8 5 0 1
お手数ですが
62円切手を
貼ってください

那須塩原市役所
シティプロモーション課
「広報なすしおばら係」行

ご住所 □□□□□□□□
那須塩原市

※掲載する場合は実名ではなく、イニシャルまたはペンネームで掲載します。
フリガナ ペンネーム
お名前 (希望者のみ)

☎電話
年齢 歳 性別 男・女

読者プレゼントに応募しない場合は☑をいれる ☐ 応募しない

もめづくり 若人 Vol.7

問い合わせ 本商工観光課
☎ 0287(62)7130

鋼管を加工して作られたOAローラーの芯軸。コピー機などの精密機器に使用されている。



鋼管の外径を成型するダイス(金型)。多くの種類があり、中心の穴に管を通すことで、多種多様な鋼管が出来上がる。溝が彫られたものや、管の断面が円以外のものも制作可能。



ともひろ
吉住朋紘さん(一区町) 製造部引抜1係 入社5年目 *Tomohiro Yosizumi*

製品が暮らしの一部として使われる喜び

私たちの生活を支えているOA機器や自動車。来年創立60周年を迎える泉鋼管株式会社では、それらに使用されている高精度の鋼管(パイプ)を、引抜鋼管という文字通り金型の中に管を通し、引き抜いて成型する手法で製造している。

震災を機にUターン

学生時代に福島県で震災を経験したことがきっかけで、生まれ育った那須塩原で仕事に就こうと決めました。弊社は、同業種の中ではめずらしく造管から加工・出荷まで一貫して行っています、そのことが惹かれた理由のひとつです。また、従業員が何百人もいるよりも百人規模の方が人と人との関わりが密接で、自分に合っているんです。

知識ゼロからのスタート

現在私が担当している引抜という工程では、ダイス(管の外径の型)とプラグ(管の内径の型)という2種類の金型を組み合わせて、鋼管を注文にあったサイズや形に加工しています。

学生時代は機械工学を専攻していましたが、ここでの作業に要する技術や知識はまったくゼロ。初めは周囲に迷惑をかけないよう必死でしたが、自分で試行錯誤し、作業を覚えていくことが楽しく感じました。昔からのものづくりが好きだったからかもしれません。

仲間たちと共に

現在入社5年目。新しい製品や加工が難しい製品を、みんなで意見を出し合いながら造り込んでいくことにやりがいを感じています。他の工程の担当者と話合うことで、新たな気づきやアイデアが生まれ、より良い仕事に結びつきます。私はそういう社内環境をととても大切に思っていますし、その環境を整えてくれる会社感謝しています。また、自分の造った製品が、みんなの暮らしの一部として使われていることが嬉しく、より良いものを造りたいという意欲にも繋がります。

弊社の従業員の平均年齢は38歳。よきライバルでもある仲間たちと、より良い製品を提供していくために切磋琢磨し、会社とともに成長していきたいです。



泉鋼管株式会社(四区町1532-1) 【業種】 製造業
【業務の内容】 電縫鋼管・引抜鋼管による各種鋼管の製造、ローラー芯軸の製造
【問い合わせ】 ☎0287(36)4147